

令和3年度 国東市：全国学力・学習状況調査結果（中学校：国語）

1 結果のポイント

・全体結果

対象生徒数	平均正答率 (%)
国東市 (160人)	67
大分県 (公立 8,788人)	66
全国 (公立 903,157人)	64.6

・分類別結果

分類	区分	平均正答率 (%)		
		国東市	大分県	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	83.3	82.1	79.8
	書くこと	59.4	58.1	57.1
	読むこと	50.0	49.1	48.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	78.4	75.5	75.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	59.4	57.2	56.0
	話す・聞く能力	83.3	82.1	79.8
	書く能力	59.4	58.1	57.1
	読む能力	50.0	49.1	48.5
	言語についての知識・理解・技能	78.4	75.5	75.1
問題形式	選択式	66.5	65.0	63.9
	短答式	76.4	75.0	74.4
	記述式	59.4	57.2	56.0

- ・平均正答率での全国平均との比較では、+2.4ポイント全国平均を上回った。
- ・領域別の全国平均との差は「話すこと・聞くこと」で+3.5ポイント、「書くこと」で+2.3ポイント、「読むこと」で+1.9ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では+3.3ポイントであった。全ての領域等で県・全国ともに上回る結果となっている。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項

2 意見文を書く（言葉の使い方）

設問一

①趣旨

- ◆書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。

- ◆学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕 B 書くこと

- エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。《推敲》

②解答類型と反応率

問題の概要	生徒数の割合	
	国東市	全国
意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する		
◎1 Aの欄に4、Bの欄に1と解答しているもの	21.9	24.8
2 Aの欄に4と解答し、Bの欄に1と解答していないもの	30.0	37.1
3 Bの欄に1と解答し、Aの欄に4と解答していないもの	5.0	4.7
4 上記以外の解答	42.5	33.1
5 無解答	0.6	0.3

◎は正解

◆分析と課題

○ 解答類型2、3の反応率の合計は35.0%で、解答類型4は42.5%となっている。選択肢にある意見や根拠、具体例といった言葉と、【意見文の下書き】の記述とを結び付けて捉えることに課題がある。

解答類型2の場合は、意見の根拠となる具体例について説明したものであることを捉えることができていないものと考えられ、また、解答類型3の場合は、元の文のままでも、直前の文で述べている意見の根拠であることは分かるが、そのことをより明確にするために「からだ」を加えていることが理解できておらず、直前の文が書き手の意見であることを捉えることができていないものと考えられる。

一番多い解答類型4の場合は、それぞれの文が意見を述べたものか、根拠や具体例を述べたものか、また、段落相互の関係が捉えることができていないものと考えられる。

③学習指導に当たって

読み手の立場に立って文章を整える

目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整えるように指導する必要がある。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるように指導することが大切である。

例えば、自分の考えを伝えたり印象付けたりする上で、書いた文章の表現がどのように働いているかを確かめるなどの学習活動が考えられる。その際、自分が書いた文章を説明や具体例、描写などに着目して見直し、これらの表現が、自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかなどについて検討し、その上で誤解のない表現やより効果的な表現にしていくように指導することが重要である。